労務単価を変更したい場合の対処方法

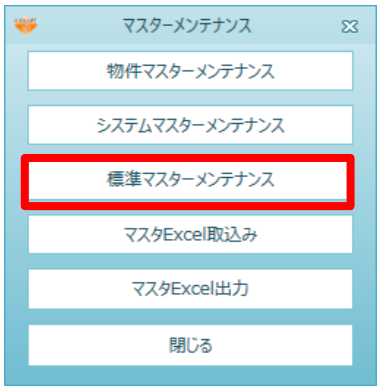
労務単価を変更したい場合の対処となります。

・初期設定する場合

1. マスターメンテナンスを開きます。



2. 標準マスターメンテナンスを開きます。



3．物件マスターメンテナンス（標準）を開きます。



4．労務単価マスターメンテナンスを開きます。

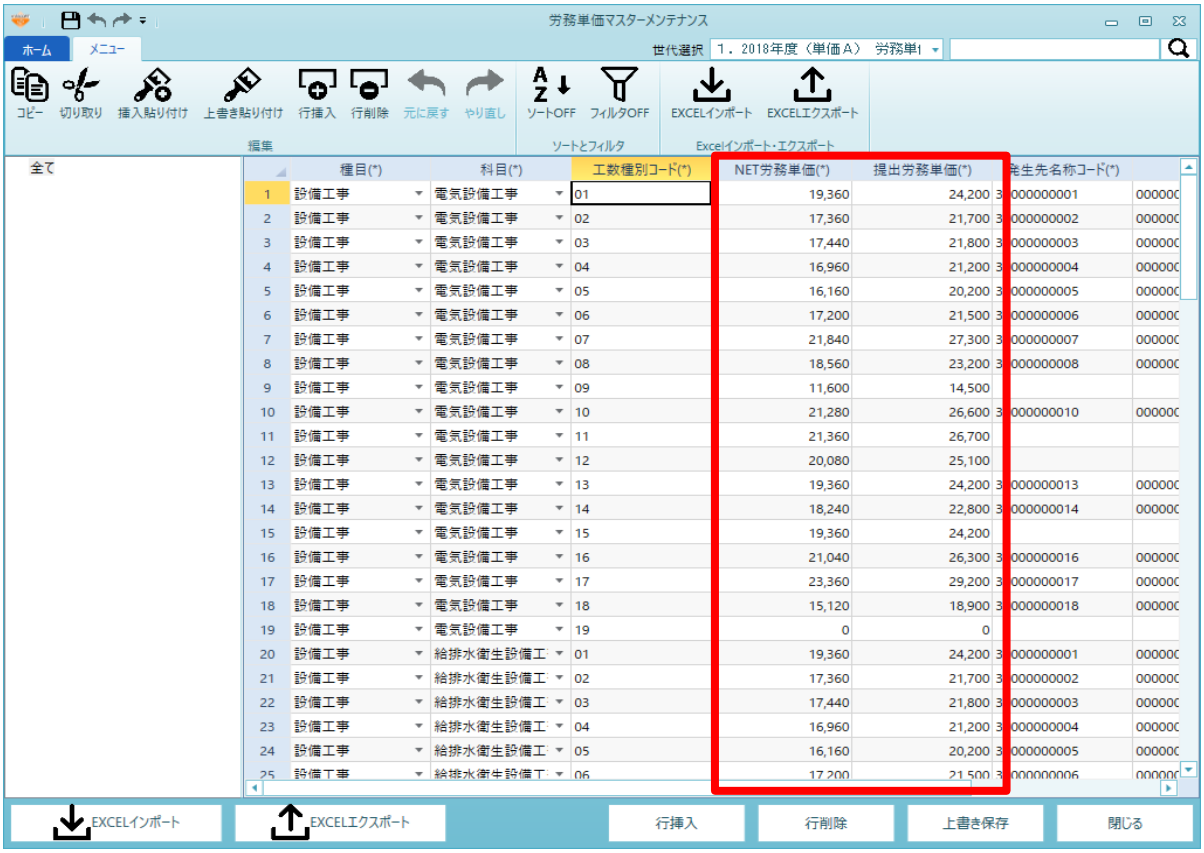


5．世代選択をします。
ESCORT内で労務単価を複数登録することができるようになっています。
実際に使用している世代を選択してください。



	種目(*)	科目(*)	工数種別コード(*)	NET労務単価(*)	提出労務単価(*)	発生先名称コード(*)	
1	設備工事	電気設備工事	01	19,360	24,200	30000000001	000000
2	設備工事	電気設備工事	02	17,360	21,700	30000000002	000000
3	設備工事	電気設備工事	03	17,440	21,800	30000000003	000000
4	設備工事	電気設備工事	04	16,960	21,200	30000000004	000000
5	設備工事	電気設備工事	05	16,160	20,200	30000000005	000000
6	設備工事	電気設備工事	06	17,200	21,500	30000000006	000000
7	設備工事	電気設備工事	07	21,840	27,300	30000000007	000000
8	設備工事	電気設備工事	08	18,560	23,200	30000000008	000000
9	設備工事	電気設備工事	09	11,600	14,500		
10	設備工事	電気設備工事	10	21,280	26,600	30000000010	000000
11	設備工事	電気設備工事	11	21,360	26,700		
12	設備工事	電気設備工事	12	20,080	25,100		
13	設備工事	電気設備工事	13	19,360	24,200	30000000013	000000
14	設備工事	電気設備工事	14	18,240	22,800	30000000014	000000
15	設備工事	電気設備工事	15	19,360	24,200		
16	設備工事	電気設備工事	16	21,040	26,300	30000000016	000000

6．科目ごとに労務単価の指定を行ってください。
工数種別コードは、
マスターメンテナンス→標準マスターメンテナンス→工数種別マスターをご確認ください。
例）1行目は電気設備工事内の電工費(01)は
NET 19,360円　提出 24,200円 という意味になります。



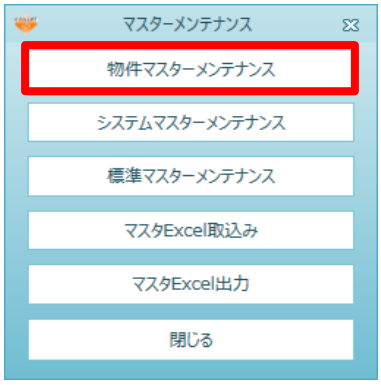
	種目(*)	科目(*)	工数種別コード(*)	NET労務単価(*)	提出労務単価(*)	発生先名称コード(*)
1	設備工事	電気設備工事	01	19,360	24,200	3 000000001
2	設備工事	電気設備工事	02	17,360	21,700	3 000000002
3	設備工事	電気設備工事	03	17,440	21,800	3 000000003
4	設備工事	電気設備工事	04	16,960	21,200	3 000000004
5	設備工事	電気設備工事	05	16,160	20,200	3 000000005
6	設備工事	電気設備工事	06	17,200	21,500	3 000000006
7	設備工事	電気設備工事	07	21,840	27,300	3 000000007
8	設備工事	電気設備工事	08	18,560	23,200	3 000000008
9	設備工事	電気設備工事	09	11,600	14,500	
10	設備工事	電気設備工事	10	21,280	26,600	3 000000010
11	設備工事	電気設備工事	11	21,360	26,700	
12	設備工事	電気設備工事	12	20,080	25,100	
13	設備工事	電気設備工事	13	19,360	24,200	3 000000013
14	設備工事	電気設備工事	14	18,240	22,800	3 000000014
15	設備工事	電気設備工事	15	19,360	24,200	
16	設備工事	電気設備工事	16	21,040	26,300	3 000000016
17	設備工事	電気設備工事	17	23,360	29,200	3 000000017
18	設備工事	電気設備工事	18	15,120	18,900	3 000000018
19	設備工事	電気設備工事	19	0	0	
20	設備工事	給排水衛生設備工	01	19,360	24,200	3 000000001
21	設備工事	給排水衛生設備工	02	17,360	21,700	3 000000002
22	設備工事	給排水衛生設備工	03	17,440	21,800	3 000000003
23	設備工事	給排水衛生設備工	04	16,960	21,200	3 000000004
24	設備工事	給排水衛生設備工	05	16,160	20,200	3 000000005
25	設備工事	給排水衛生設備工	06	17,200	21,500	3 000000006

・特定の物件のみ労務単価を変更する場合（他の物件には影響ありません。）

1．マスターメンテナンスを開きます。



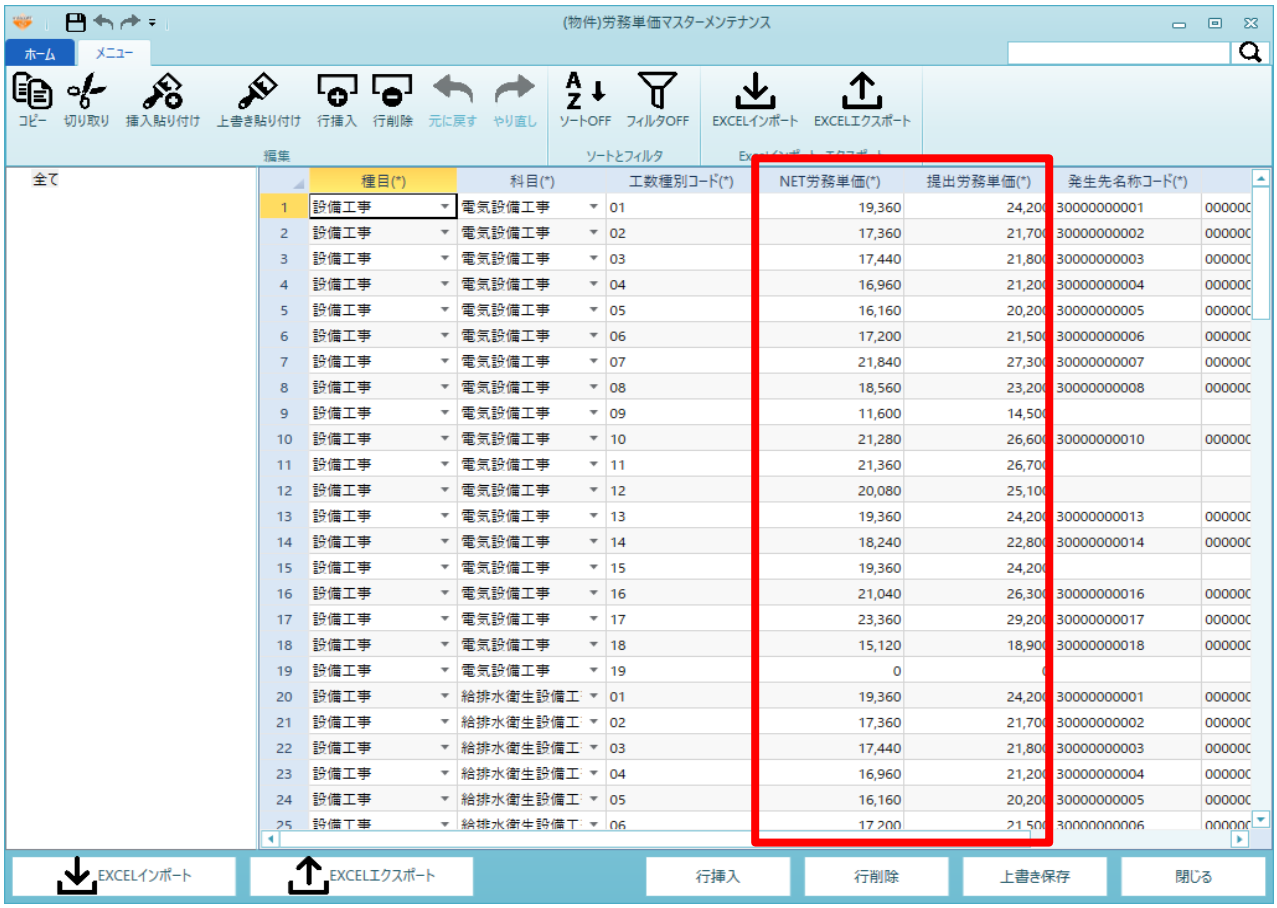
2．物件マスターメンテナンスを開きます。



3．労務単価マスターメンテナンスを開きます。

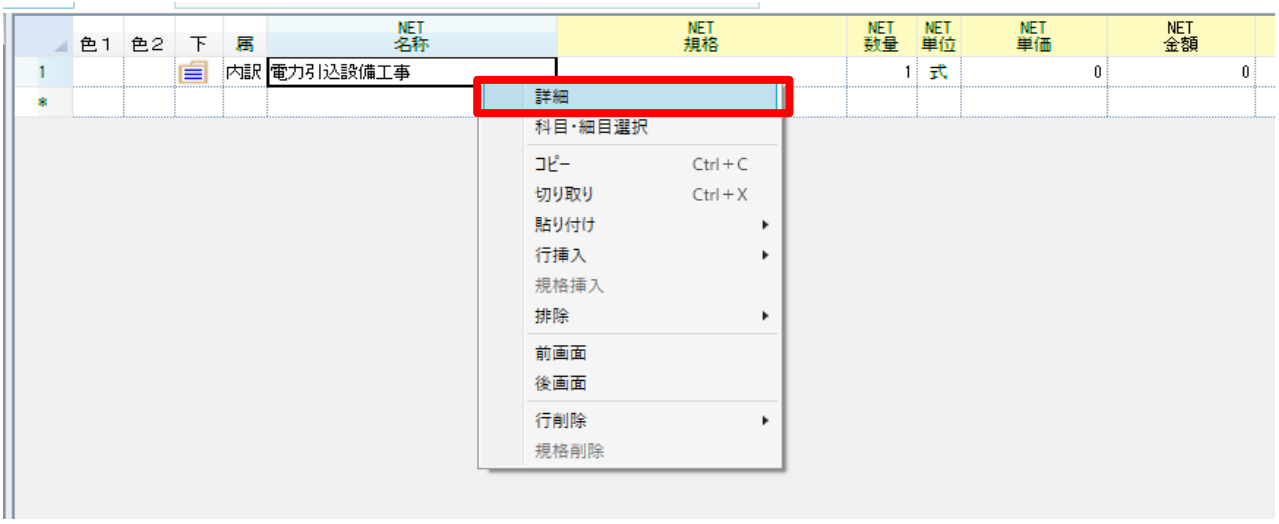


4．科目ごとに労務単価の指定を行ってください。
工数種別コードは、
マスターメンテナンス→標準マスターメンテナンス→工数種別マスターをご確認ください。
例）1行目は電気設備工事内の電工費(01)は
NET 19,360円　提出 24,200円 という意味になります。

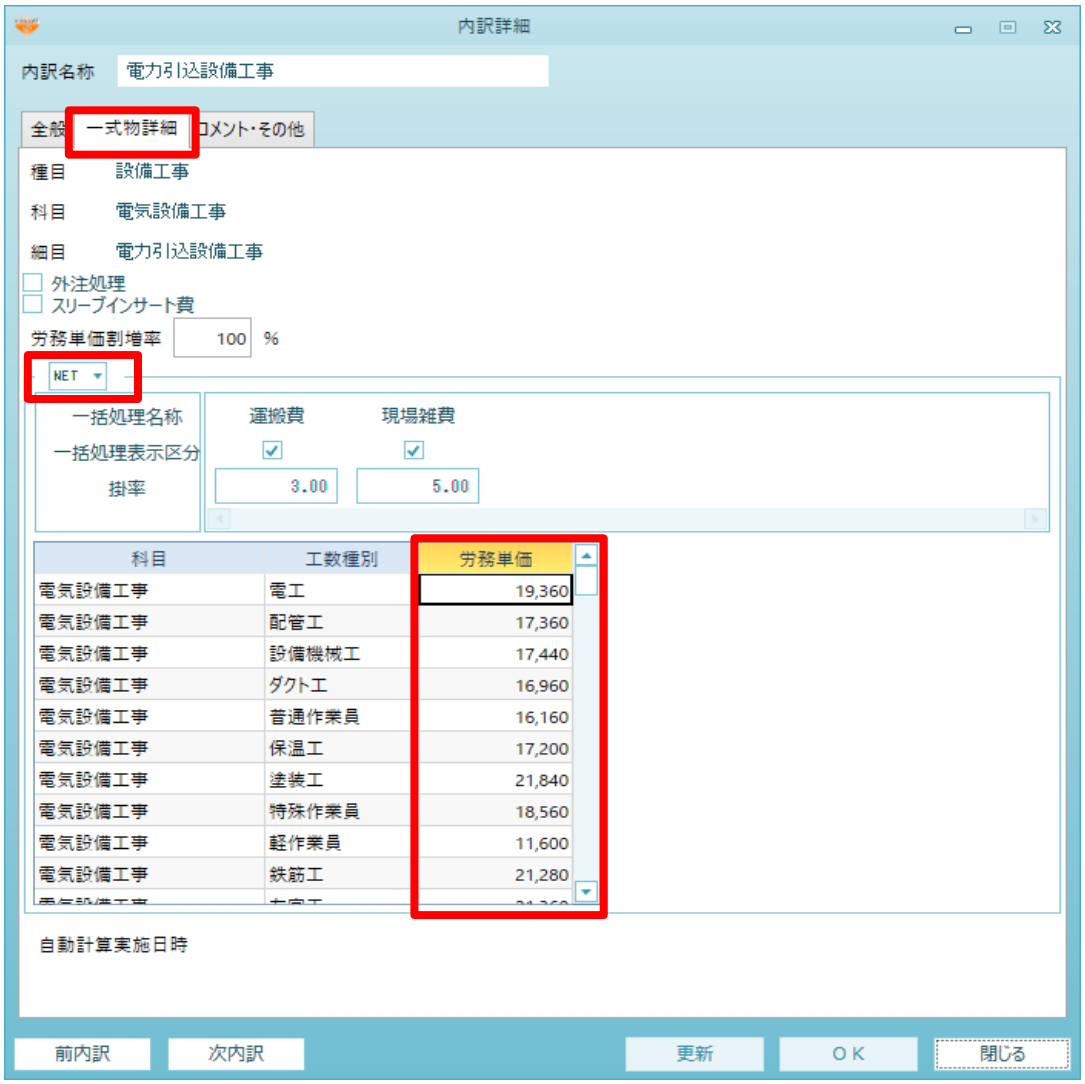


・物件内で特定の工種のみ労務単価を変更する場合

1．各工種名を右クリックし、詳細を開きます。

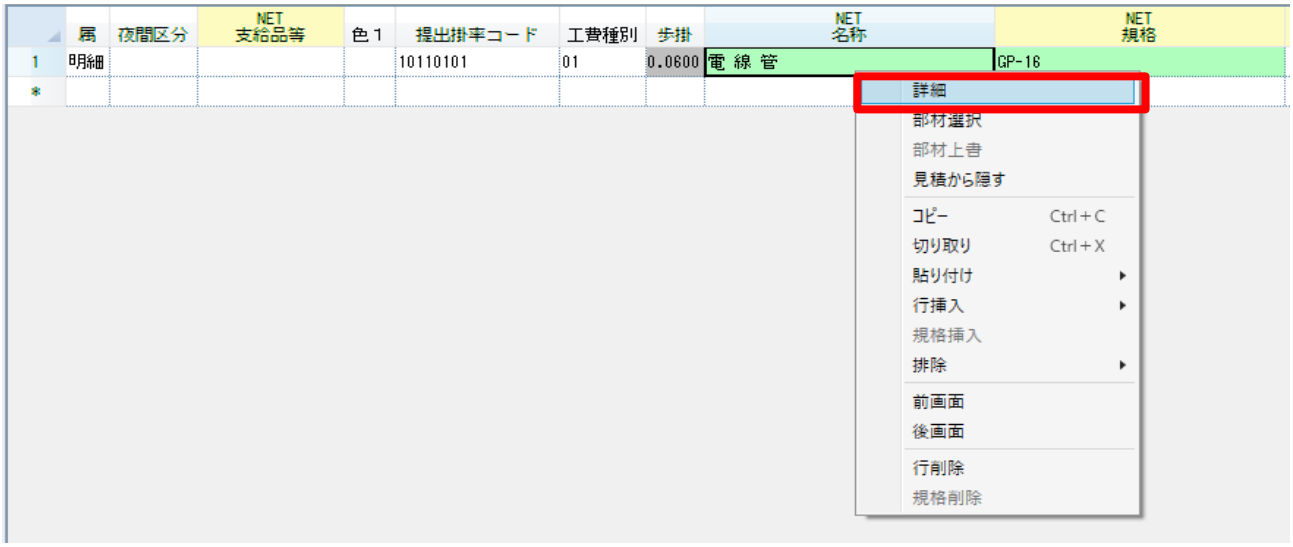


2．一式物詳細タブを開きます。
NET、提出どちらの労務単価を変更するか指定します。
労務単価を入力します。

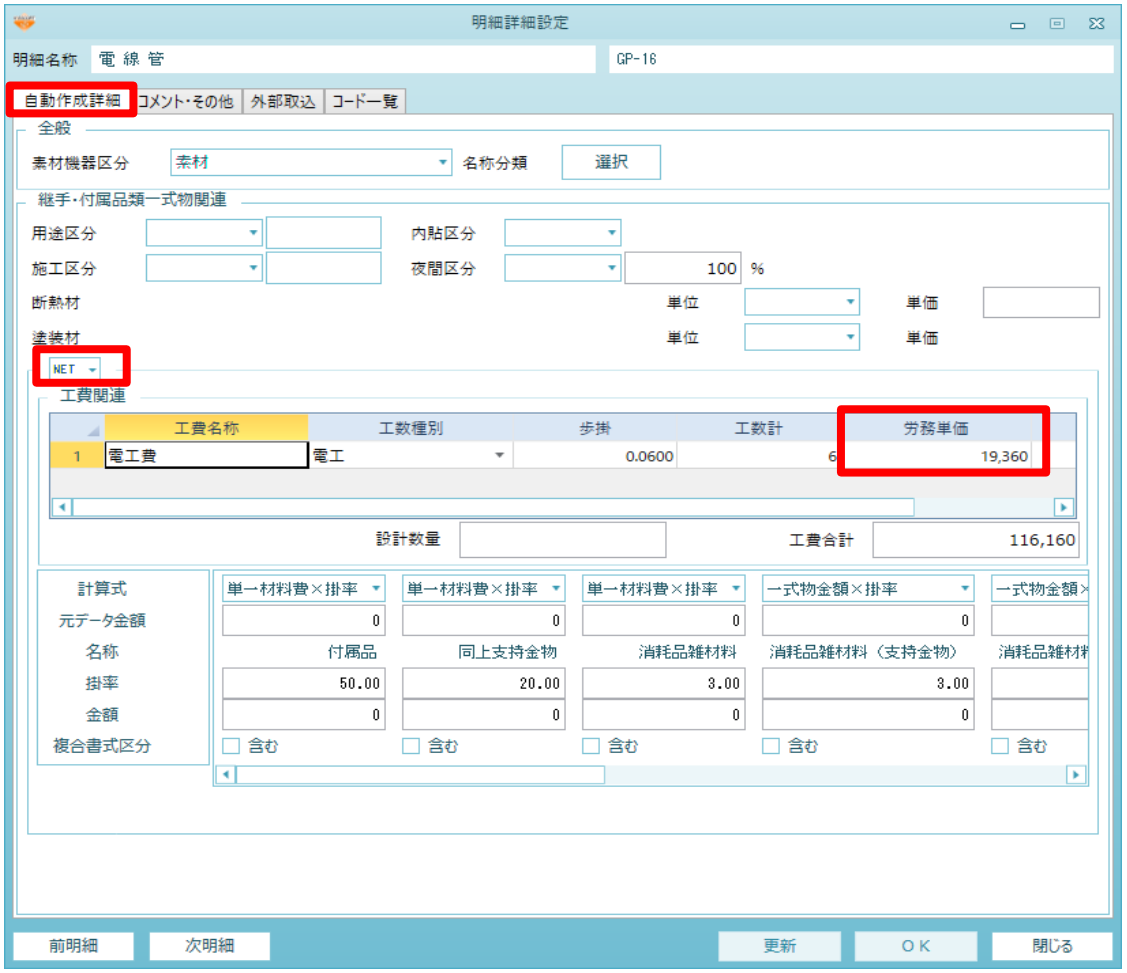


・個々の部材ごとに労務単価を変更する場合

1．労務単価を変更したい部材名を右クリックし、詳細画面を開きます。



2．自動作成詳細タブを開きます。
NET、提出どちらの労務単価を変更するか指定します。
労務単価を入力します。



以上で終了です。
上記手順にて解決できない場合には、弊社窓口までお問合せ下さい。